

大都市圏の柔道整復施術所における あん摩マッサージ指圧療法、 鍼灸療法等の実態に関する調査研究

— その2 柔整院と鍼灸柔整院との比較検討— (前編)

矢野 忠 明治国際医療大学鍼灸学部
安野富美子 東京有明医療大学保健医療学部
藤井亮輔 筑波技術大学保健科学部
近藤 宏 筑波技術大学保健科学部
鍋田智之 森ノ宮医療大学保健医療学部

I

柔整院と鍼灸柔整院を 比較検討する意義

本稿その1 (本誌2017年11月号に前編、同12月号に後編を掲載) では、柔整院 (整骨院、接骨院)・鍼灸柔整院 (鍼灸整骨院、鍼灸接骨院) におけるあん摩マッサージ指圧 (以下、あま指) 療法、鍼灸療法、カイロプラティック・整体術 (以下、カイロ・整体)、アロマセラピーや手もみなどのリラクゼーション (以下、リラク) の業務の実態について、主として単純集計の結果を報告した。

そのなかで最も注目すべきことは、6割以上の施術所があま指療法、鍼灸療法、カイロ・整体、リラクのいずれか一つまたは複数を導入していたことであった。導入の理由は、①治療の幅を広げる、②患者満足度を高める、③収入を上げる、であった。すなわち、柔道整復術 (以下、柔整術) を核として、他の療法を導入することで受療者のニーズに応え、収益の向上につなげようとしていることが示された^{1,2)}。

こうした状況は、柔道整復業 (以下、柔整業) における経営努力として評価できる一方、専門である柔整術を十分に発揮できない現状

への不満、そしてその代償として他の療法を取り込んでいるようにも読み取れる。いずれにしても柔整業では、本業以外に複数の療法を導入している施術所は多いといった実態に変わりはない。

現在、柔整業では、柔整院と鍼灸柔整院の2種類の営業形態が存在する。両者の業務状況は異なると思われるが、この点に関する詳細な報告は見当たらなかった。そこで柔整院と鍼灸柔整院に分けて分析し直すことにした。

こうした分析作業は、柔整業の現状把握と行方の検討だけでなく、あはき業の行方を考えるうえでも必要である。本稿では、主として重要、あるいは必要と思われる項目について比較検討したので報告する。なお、調査対象、調査方法などについては、本稿その1 (前編)¹⁾に記載してあるので参照いただきたい。

II

柔整院と鍼灸柔整院の比較 — その結果の意味するもの

1. 開設者の所持している資格と雇用している施術者について

表1は、開設者が所持している資格の比較

表1 所持している資格の比較

| | 該当者 | | 柔整師 | あま師 | はき師 | Dr カイロ | 認 カイロ | 認整体 | その他 | 資格 ない | 無回答 |
|-----------|-----|-----|------|------|------|-----------|----------|------|------|----------|-----|
| | 柔整院 | 171 | % | 99.4 | 5.8 | 12.3 | 1.2 | 10.5 | 5.8 | 12.9 | 0 |
| | 実数 | | 170 | 10 | 21 | 2 | 18 | 10 | 22 | 0 | 0 |
| 鍼灸 柔整院 | 291 | % | 95.5 | 25.1 | 85.9 | 0.7 | 9.6 | 7.2 | 17.2 | 0.7 | 0 |
| | | 実数 | 278 | 73 | 250 | 2 | 28 | 21 | 50 | 2 | 0 |

あま師：あん摩マッサージ指圧師、はき師：鍼灸師、Drカイロ：ドクター・オブ・カイロプラクティック、認カイロ：認定カイロプラクティック、認整体：認定整体師（表2も同様）

表2 雇用している施術者の比較

| | 該当者 | | 柔整師 | あま師 | はき師 | Dr カイロ | 認 カイロ | 認整体 | その他 | 補助者 | ない | 無回答 |
|-----------|-----|-----|------|------|------|-----------|----------|-----|-----|------|------|------|
| | 柔整院 | 171 | % | 49.1 | 2.3 | 10.5 | 0.6 | 2.9 | 4.1 | 2.3 | 19.9 | 41.5 |
| | 実数 | | 84 | 4 | 18 | 1 | 5 | 7 | 4 | 34 | 71 | 1 |
| 鍼灸 柔整院 | 291 | % | 55.0 | 20.6 | 52.6 | 0 | 4.1 | 4.1 | 5.5 | 18.6 | 27.8 | 1.7 |
| | | 実数 | 160 | 60 | 153 | 0 | 12 | 12 | 16 | 54 | 81 | 5 |

を示す。最も明瞭な差を示したのは鍼灸師の資格で、資格を有する開設者の割合は柔整院で12.3%、鍼灸整骨院で85.9%であり、鍼灸柔整院のほうが73.6ポイント高く、圧倒的な開きがあった。次いで大きな差がみられたのはあま師の資格を有する開設者の割合で、柔整院が5.8%、鍼灸整骨院が25.1%であり、鍼灸接骨院のほうが19.3ポイント高かった。一方、ドクター・オブ・カイロプラクティック、認定カイロプラクティック、認定整体師のいずれかを有する開設者の割合は両者とも17.5%で、相違は認められなかった。

このように、営業形態の相違によって鍼灸師とあま師の資格で両者に差が認められたことは当然の結果であった。むしろ興味深いことは、カイロ・整体術の資格が両者ともに同率であったという点である。なぜ、両者ともに一定の割合でカイロ・整体の資格を有しているのか。その理由について、次のように考えてみた。

両者の本業が柔整師であることから、主たる業務は急性疾患（捻挫・打撲・脱臼・骨折の急性疾患）への対応である。しかし、実態は急性期を過ぎた疾患や病態を対象に施術を行っているのではないだろうか。したがって、

それらに対応するために臨床（治療）の幅を広げる必要があることから、両者ともにカイロ・整体を導入したのではないかと考えられた。それは導入した理由において「治療の幅を広げたかった」の割合が大きかったことからもうかがえる。

鍼灸師の資格を有していれば、その点をカバーできると考えられるが、鍼灸柔整院においても、カイロ・整体の資格を有する開設者が同率であったことから、鍼灸療法とは異なる特色、例えば手技としての優位性や経営上の利点などの観点から資格を取得し、導入を図ったものと考えられた。

なお、開設者がその他の資格（薬剤師、理学療法士、ケアマネジャー、介護福祉士など）を所持している柔整院は22件、鍼灸柔整院は50件であった。両者ともに最も多かった資格はケアマネジャーで、その割合は柔整院で45.5%、鍼灸柔整院で52.0%であった。超高齢社会を突き進んでいる我が国において、介護分野は大きな市場であり、今後ますます拡大するであろう。そうした動向を見据え、来るべき事態に対応しようとしている施術所はまだ多いとはいえないものの、今後は増えると思われる。

一方、雇用している施術者については、表2に示すように、両者で差が認められたのがあま指師と鍼灸師で、鍼灸接骨院のほうがこれらの有資格者を多く雇用していた。この結果については、開設者の所持している資格と同様であったことから、開設者が所持している資格にかかわる業務をさらに拡充させるために同種の施術者を雇用したのではないかと考えられた。

2. 施術所で行っている各種療法の比較

表3は、あま指療法の比較を示す。表3で明らかなように、柔整院であま指療法を行っている割合は10.5%、同じく鍼灸柔整院では37.5%で、鍼灸柔整院のほうが高かった。この差は、鍼灸柔整院において、開設者・雇用された施術者ともにあま指師が多かったことによると思われた。

表4は、鍼灸療法の比較を示す。柔整院で鍼灸療法を行っている割合は14.6%、同じく鍼灸柔整院では97.6%で、鍼灸柔整院のほうが圧倒的に高かった。あま指療法についても鍼灸接骨院で行われている割合が高かったがそれ以上であり、ほぼ全施術所で実施されている。このことは、柔整術と鍼灸療法を提供する施術所（鍼灸柔整院）としては当然の結果である。

鍼灸療法の受療場所の調査^{3,4)}では、鍼灸

院での受療率よりも柔整院・鍼灸柔整院での受療率のほうが大きかったことから考えて、鍼灸療法の受療場所が柔整院・鍼灸柔整院に移る傾向は一層加速されるであろう。そうなれば、鍼灸療法に対する国民の認識に何らかの影響を及ぼすことは必至である。本稿その1（後編）²⁾では、安価な施術料と施術内容が一体となって、国民の鍼灸療法に対する認識を形成することへの懸念を述べた。実際、鍼灸療法に対して国民がどのような認識を抱くのが気がかりである。もし量が質を支配するとすれば、鍼灸院における鍼灸療法の質をどのようにして担保できるのかが問われる。いずれにしても、上述した懸念は推測の域を出ないことから、この点については鍼灸院と柔整院・鍼灸柔整院の受療者を対象とした調査を待たなければならない。

表5は、カイロ・整体の比較を示す。柔整院でカイロ・整体を行っている割合は45.0%、鍼灸柔整院でも45.0%で同率であった。カイロ・整体を導入する理由が、主として臨床（治療）の幅を広げるためや経営上の利点からであることから、両者のどちらかに偏るとは考えにくい。いずれにしても、こうした手技を導入する理由の根底には、柔整術を存分に発揮できる対象疾患や病態が極めて少ないことが関与しているものと思われる。

表6は、リラクの比較を示す。柔整院でリ

表3 あま指療法の比較

| | 該当者 | | している | していない | 無回答 |
|-------|-----|----|------|-------|------|
| | | % | | | |
| 柔整院 | 171 | % | 10.5 | 54.4 | 35.1 |
| | | 実数 | 18 | 93 | 60 |
| 鍼灸柔整院 | 291 | % | 37.5 | 32.3 | 30.2 |
| | | 実数 | 109 | 94 | 88 |

表4 鍼灸療法の比較

| | 該当者 | | している | していない | 無回答 |
|-------|-----|----|------|-------|------|
| | | % | | | |
| 柔整院 | 171 | % | 14.6 | 52.6 | 32.7 |
| | | 実数 | 25 | 90 | 56 |
| 鍼灸柔整院 | 291 | % | 97.6 | 0.7 | 1.7 |
| | | 実数 | 284 | 2 | 5 |

表5 カイロ・整体の比較

| | 該当者 | | している | していない | 無回答 |
|-------|-----|----|------|-------|------|
| | | % | | | |
| 柔整院 | 171 | % | 45.0 | 32.7 | 22.2 |
| | | 実数 | 77 | 56 | 38 |
| 鍼灸柔整院 | 291 | % | 45.0 | 26.8 | 28.2 |
| | | 実数 | 131 | 78 | 82 |

表6 リラクの比較

| | 該当者 | | している | していない | 無回答 |
|-------|-----|----|------|-------|------|
| | | % | | | |
| 柔整院 | 171 | % | 13.5 | 53.2 | 33.3 |
| | | 実数 | 23 | 91 | 57 |
| 鍼灸柔整院 | 291 | % | 21.0 | 38.1 | 40.9 |
| | | 実数 | 61 | 111 | 119 |

ラクを行っている割合は13.5%、同じく鍼灸柔整院では21.0%で、鍼灸柔整院のほうが7.5ポイント高かった。リラクの導入も受療者のニーズに応えるためであることから、どちらかに偏ることはないものと思われたが、鍼灸柔整院での導入率がやや高かった。その理由として、あま指療法や鍼灸療法に加え、癒やしをさらに充実させるためにリラクの導入を図ったのではなかろうかと考えられた。

3. 1日の受療者（患者）数の比較

表7は、柔整術の1日の受療者数の比較を示す。1日の受療者数を平均値、最大値、中央値でみると、すべての項目において鍼灸柔整院のほうが若干多かった。また、人数別区分で比較すると、20人以上の区分の割合でも鍼灸柔整院のほうが若干高かった。

このように、1日の受療者数の比較では、柔整院に比べて鍼灸柔整院のほうが多かった

表7 1日の受療者数の比較

| | 該当者 | | 0～9人 | 10～19人 | 20～29人 | 30～39人 | 40～49人 | 50人以上 | 無回答 | 平均値 | 最大値 | 中央値 |
|-------|-----|----|------|--------|--------|--------|--------|-------|-----|------|-----|-----|
| | | | % | | | | | | | | | |
| 柔整院 | 169 | % | 24.3 | 24.9 | 20.1 | 12.4 | 6.5 | 7.1 | 4.7 | 20.7 | 100 | 18 |
| | | 実数 | 41 | 42 | 34 | 21 | 11 | 12 | 8 | | | |
| 鍼灸柔整院 | 288 | % | 22.2 | 20.5 | 21.5 | 12.2 | 8.0 | 9.4 | 6.3 | 23.4 | 146 | 20 |
| | | 実数 | 64 | 59 | 62 | 35 | 23 | 27 | 18 | | | |

(平均値・最大値・中央値の数値は1日の受療者人数を、実数の数値は施術所数を示す)

表8 療法別からみた受療者の平均と中央値の比較

| | 該当者（件） | | 平均（人） | 中央値（人） |
|--------|--------|-------|-------|--------|
| | 柔整院 | 鍼灸柔整院 | | |
| あま指 | 柔整院 | 18 | 12.8 | 6.5 |
| | 鍼灸柔整院 | 109 | 7.5 | 3.0 |
| 鍼灸 | 柔整院 | 25 | 2.4 | 2.0 |
| | 鍼灸柔整院 | 284 | 6.9 | 5.0 |
| カイロ・整体 | 柔整院 | 77 | 9.4 | 5.0 |
| | 鍼灸柔整院 | 131 | 8.1 | 5.0 |
| リラク | 柔整院 | 23 | 4.7 | 2.0 |
| | 鍼灸柔整院 | 61 | 7.6 | 5.0 |

が、統計的（95%信頼区間）に有意差は認められなかった。しかし、月単位、あるいは年単位に換算すれば、両者の差は大きく開くことになる。

なお、表8は各療法別の1日の受療者数の平均と中央値の比較を示す。あま指療法では柔整院のほうが多く、鍼灸療法では鍼灸柔整院が多かった。一方、カイロ・整体では差はなかったが、リラクでは鍼灸柔整院のほうが多かった。このように、柔整院ではあま指の受療者が、鍼灸柔整院では鍼灸療法とリラクの受療者が多かった。

こうした相違が普遍的な傾向なのかどうかは今後の調査を待たなければならないが、少なくとも提供している療法の種類とその数により、両者で差が生じたものであろう。

後編では、柔整院と鍼灸柔整院で行われて

いる各種療法の施術料、経営状態などについて検討する。

参考文献

- 1) 矢野忠, 安野富美子, 藤井亮輔, 他. 大都市圏の柔道整復施術所におけるあん摩マッサージ指圧療法、鍼灸療法等の実態に関する調査研究—その1主として単純統計による検討— (前編). 医道の日本 2017; 76(11): 136-44.
- 2) 矢野忠, 安野富美子, 藤井亮輔, 他. 大都市圏の柔道整復施術所におけるあん摩マッサージ指圧療法、鍼灸療法等の実態に関する調査研究—その2主として単純統計による検討— (後編). 医道の日本 2017; 76(12): 122-9.
- 3) 矢野忠, 安野富美子, 藤井亮輔, 他. 我が国におけるあん摩マッサージ指圧、鍼灸、その他の手技療法の受療状況に関する調査 (前編). 医道の日本 2016; 75(9): 96-101.
- 4) 矢野忠, 安野富美子, 藤井亮輔, 他. 我が国におけるあん摩マッサージ指圧、鍼灸、その他の手技療法の受療状況に関する調査 (後編). 医道の日本 2016; 75(10): 108-18.

医道MOOKシリーズ002

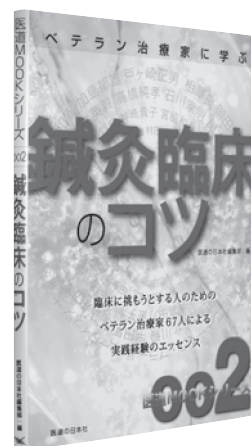
ベテラン治療家に学ぶ 鍼灸臨床のコツ

編：医道の日本社編集部

B5判 192頁 定価(本体2,600円+税)

臨床に挑もうとする人のための
ベテラン治療家67人による
実践経験のエッセンス

なぜ簡単に取穴できるのだろうか？ なぜ、患者さんから厚い信頼を得られるのだろうか？ なぜ、あんなに治せるのだろうか？——。特定の分野や流派に偏らず、各方面で活躍する経験豊かなベテラン臨床家67人の「臨床上的コツ」を結集。



医道の日本社 フリーダイヤル 0120-2161-02 Tel. 046-865-2161 ご注文 Fax. 046-865-2707
1回のご注文 1万円(税込)以上で梱包送料無料で(1万円未満：梱包送料 583円)